

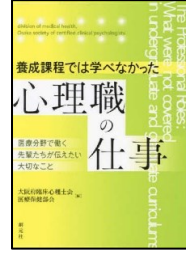


# 5月新着本案内

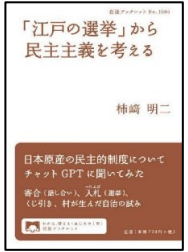
2024年5月号  
瀬木学園図書館



●『恋愛はどこまで科学できるのか』  
齊藤慎一著  
恋愛を科学的視点からアプローチした研究を詳しく紹介しています。心理学・脳科学・遺伝子研究など多岐に渡ります。(141.62/Sa85)



●『養成課程では学べなかった心理職の仕事』  
大阪府臨床心理士会医療保健部会編  
医療分野で働く心理職の人たちの、実践で役に立つ知見や技術が載っています。医療分野以外でも活かせます。(146.89/073)



『「江戸の選挙」から民主主義を考える』  
柿崎明二著  
江戸時代後期、幕藩体制の末端にあった村では村役人を入札と呼ばれる選挙で選んでいました。選挙からみえてくる民主主義とは?(312.1/カ)



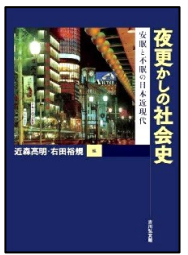
●『学生生活の法学入門』山下純司ほか著  
大学生が遭遇しうる様々なトラブルを民法・刑法・行政法の観点から読み解きます。問題に直面した時、法はどのように役立ち、解決に至るのか勉強しましょう。(321/Y44)



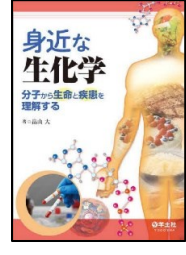
『自閉症が文化をつくる』竹中均著  
生きづらさ自体は他者から共感されませんが、その人たちの作る文化は、共感されます。生きづらさの中から生み出された文化には、どのような共通点があるのか考えます。(361.5/タ)



『学校保健概論』渡邊正樹編著  
学校保健学の内容を精選し、基礎・基本を簡潔にまとめたテキストです。新しい課題やエビデンスに対応した、最新の情報を盛り込んだ第4版です。(374.9/ワ)



●『夜更かしの社会史』近森高明, 右田裕規編  
夜間も活動し生産・消費をするようになり、人々は「眠り」をどのように考えているのか。眠ることと眠らないことを同時に要請する社会の特性を追究します。(383.9/C44)



●『身近な生化学』畠山大著  
日常生活にある身近な生命現象と関連づけながら、生化学反応を解説しています。講義で話しているような文章なので、親しみを持って読むことができます。(491.4/H41)



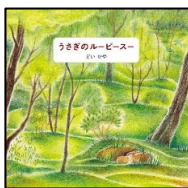
『これ、本当に「食べもの」ですか?』  
天笠啓祐著  
土、微生物、太陽、そして水が生命を育み、人間がいただくのが「食べもの」。それを断ち切ったものは何というのか?(498.54/ア)



『食べるのが楽しくなる! 栄養学一年生』  
中屋豊監修  
何にどんな栄養が含まれているのか? 栄養の基礎を楽しく学べる本です。食物栄養専攻の学生以外にもおすすめです。(498.55/ナ)



『世界の名作文学からティーパーティーの料理帳』アリソ・ウルフ著/白石裕子訳  
名作に登場するお菓子などのレシピ、物語をイメージしたブレンドティーなどが載っています。憧れの世界を堪能!!(596.65/ウ)



『うさぎのループスー』どいかや作  
「朝起きると、私の家の机の下でうさぎがしんでいました。」から始まる物語…。自然のなかにある死と再生を、静かに鮮やかに描いた美しい絵本です。(726.6/ドイ)



●『図とイラストで学ぶ新しいスポーツマネジメント』中西純司, 松岡宏高編集  
グローバルスポーツとローカルスポーツが共生する社会を作るにはどうしたらよいか。分かりやすく解説しています。(780.9/N38)

## ☆日本語検定公式過去問題集☆

日本語検定の最新過去問が入りました。勉強して、試験を受けてみませんか?

- 『日本語検定公式過去問題集1級 令和6年度版』
  - 『日本語検定公式過去問題集2級 令和6年度版』
  - 『日本語検定公式過去問題集3級 令和6年度版』
  - 『日本語検定公式過去問題集4級 令和6年度版』
  - 『日本語検定公式過去問題集5級 令和6年度版』
  - 『日本語検定公式過去問題集6・7級 令和6年度版』
- (810.79/ニ/2024)



日本語検定とは・・・日本語の総合的な能力を測る検定試験です。正しい日本語を使えるようになります。学力の向上、対話力のスキルアップなども期待できます。

書名の前に●がついている本は分館に置いています。(●がない本は本館に置いています。)